

## 平成 29 年度 第 1 回伊勢市スポーツ推進審議会 会議録（概要）

平成 29 年 6 月 14 日（水）午後 7 時 30 分

小俣公民館 1 階 第 1 会議室

出席委員：小木曾一之会長、龍田 洋副会長、北村 峯記、中西 武寿  
奥田 守、米山 公美、中辻 茂、田村 善保、平沼美智子  
立花 和子、豊島 久雄

欠席委員：久米 邦明

事務局：北村 陽教育長、沖塚孝久スポーツ課長、廣 俊明スポーツ振興係  
長、日置純子スポーツ施設係長

1 あいさつ（伊勢市教育委員会 教育長 北村 陽）

2 委嘱状の交付

交付後、平成 29 年度の事務局体制について自己紹介

3 正副会長の選出

会長 小木曾一之委員

副会長 龍田 洋委員

4 協議事項

(1) 伊勢市スポーツ推進計画 平成 28 年度取組み結果について

### 質疑応答

質問	運動を行う大人の割合を増やすにあたり、市としてどのような方策をもっているのか。
回答	総合型地域スポーツクラブであれば大きな負担にならない程度の会費で会員となり、様々な運動に気軽に参加することができる。また、市民ふれあいウォーキングなどに参加することで、定期的な運動の習慣化のきっかけづくりになると考えている。また、当課のスポーツイベント等を「健幸ポイント事業」の対象とすることで、運動をすることのきっかけづくりとしている。
意見	総合型地域スポーツクラブでは、地域に偏りがあるが、各学区にいるスポーツ推進委員が中心となり地域内でのスポーツ推進を進めれば、どの地域でも運動のきっかけづくりはできると思う。

意見	ウォーキングは比較的、始めやすい運動であるので、モデルコースの紹介などがあれば、ウォーキングのきっかけになると思うが。 (→健康課が広報いせ等でコース紹介等行っておりますので、参考にしていただければと発言。)
質問	指導者バンクの登録状況および活用実績について
回答	28年度末で23人が登録している。 現時点では、活用の実績はないが、今後とも、利用者及び、登録者の双方に制度の周知を図り、マッチングできるように努める。
意見	スポーツ施設の稼働率 曜日、時間によって状況は変わってくるが、空いている時間をどう有効に使ってもらうかを考えていく必要がある。
意見	施設に対する全体的な満足度 大規模施設ばかりではなく、市民の方が利用する身近な施設の充実を行えば、満足度につながるのではないか。
質問	料金改定については、検討する必要があるのか。
回答	当施設料金は、公共施設マネジメントも考慮して、今後、市全体として検討していくこととなるので、スポーツ施設についてもそれに合わせていきたい。
意見	指定管理制度を早く導入し、曜日等に関係なく申請をできるようにしてほしい。
回答	施設に当課の嘱託職員等がいるところについては、曜日に関係なく各施設で申請していただくことができる。 また、一部を除きインターネットでも予約を行っている。
意見	スマホで施設予約ができるようになっているのか。
回答	現在のシステムでもできます。 (※今後検討していくと回答したが、現在のシステムでもできます。)

(2) 第2期伊勢市スポーツ推進計画 平成29年度実施計画について

質疑応答

質問	市が主催する大会とはいくつあるのか。参加人数を増やすため、大会に数を増やしていくのか、それとも各大会への参加者数を増やしていくのか
回答	大会の数は5項目程です。 指標としては、対象の大会でそれぞれの大会への参加者を増やしていきたいと考えているが、市主催の大会数が増えれば、今後、毎年計画に対する検証する際に、新たな大会の参加者数も資料としてつけるようにします。
意見	総合型スポーツクラブの指導者育成にも支援していただきたい。
質問	施設に対する全体的な満足度は、どの様に調査しているのか。 スポーツをしない人に聞いても意味がないので、施設利用者に簡単なアンケートを取ってみてはどうか。
回答	満足度については、第1期計画からの継続として調査している。 アンケートの中では、アクセス等の5項目を調査しており、その全体的な数字を満足度としている。
意見	伊勢市で開催される大会等の際に、宿泊補助として1人1,000円もらえる制度がある。この制度は、大会を誘致するのに必要な制度であると思うので、継続してほしい。 また、補助制度をPRする際には、伊勢市の気候、雨量、宿泊施設、宿泊先での食事等の情報を教えてあげると、相手側には大変役立つ情報だと思う。

- 5 その他  
特になし